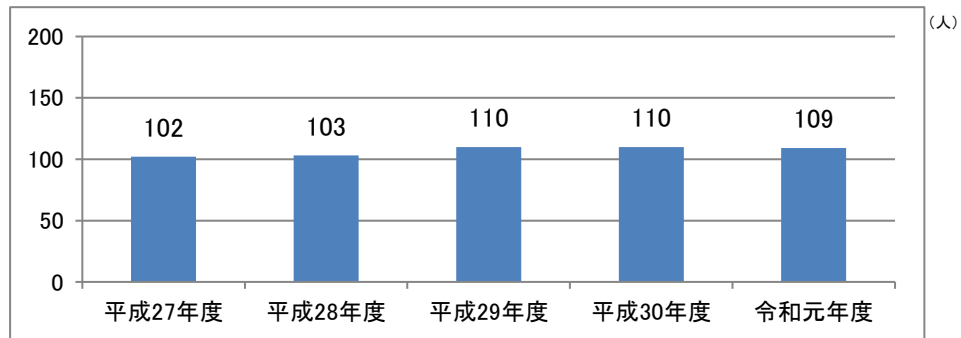


36 指導医数

○項目の解説

指導医とは、研修医の教育・指導を担当できる臨床経験のある専門医師のことです。国立大学附属病院の社会的責任の一つに、診療を通じた研修医指導があります。優れた医療者の育成に真摯に取り組んでいることと、専門医師の層の厚さを表現する指標です。

○当院の実績



○当院の自己点検評価

当院では、全診療科に指導医が配置され、十分に研修指導を行える環境となっておりますが、指導環境の維持・向上のため、厚生労働省が承認する指導医講習会を必要に応じて開催し、平成28年度以降は常に100名以上の指導医数を維持しています。

また、当院の初期臨床研修プログラムは、当院と地域の病院や医療施設等が一体となって実施していることから、これらの地域の病院等に所属している医師へも当該講習会への参加を呼びかけ、その参加者数を増やしており、地域全体としての指導医の質の向上を図ることが出来ていると考えております。

○定義

当該年度6月1日時点で、医籍をおく医師のうち、臨床経験7年目以上で指導医講習会を受講した臨床研修指導医の人数です。

臨床研修指導医、及び臨床経験の定義は、「※医師法第十六条の二第一項に規定する臨床研修に関する省令の施行について(厚生労働省平成15年6月12日)」に従います。

参考URL: <http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitutsuite/bunya/0000081052.html>

○算式

実数